

## 実践報告資料

研究テーマ『主体的・対話的で深い学びを実現する授業をめざして

－多文化共生を重視した授業づくりや活動の設定－』

研究内容【(1)、(2)、(3)、(4)】

学校名（姫路市立糸引小学校）

<p>ア 人権教育としてのねらい                  多様な価値観を受容することは人間関係を豊かにすることに気付き、相手の気持ちを考えながら、共に生きようとする意欲や態度を育てる。</p>				
<p>イ 研究の概要                  自尊感情を高め、生命や人権を大切にして、互いの違いを知り、認め合う活動を設定し、多文化共生の視点を取り入れた授業づくりを行う。</p>				
領域	教科	道徳 (特別の教科 道徳)	特別活動	総合的な学習の時間
指導者	2年担任 推進教諭	4年担任	全教職員	5年担任
実施日	6月29日	1月15日	11月20日	10月23日
取組名	違いを知り、認め合い、 力を合わせよう	きめつけはやめよう	糸引ワードコレクション ンゲーム集会をしよう	わたしにできる福祉
目 標	他者との違いを個性 と捉え、自分の考えや 気持ちを表現する。	先入観や固定観念を 見直し、誰に対しても 公正、公平な態度で接 しようとする意欲を育 てる	児童が計画や運営を 行う集会等の活動にお いて、学年や学級が異 なる児童と楽しく活動 し、交流を図ることで、 学校生活の充実と向上 を図る。	年齢や性別、国籍、 障害の有無などに関わ らず誰もが気持ちよく 暮らすために自分にで きることを実践してい こうとする態度を育て る。
資料名	「スイミー」 (光村図書 国語2年 上)	「だれにでも」 『ほほえみ』 (県教育委員会)		
指導内容 や指導方 法の工夫 等	比喩表現に着目し て、登場人物の行動や 姿を具体的に想像させ る。 ペアで話し合う時 は、朝の短時間学習で 学んだあいづちを打ち ながら、互いの意見を 聞き合うよう声をかけ る。 第3場面を読み、ス イミーが元気を取り戻 していく様子と気持ち の変化を読み取らせ る。	TTで授業を行い、 それぞれの人物の視点 で問いかけをすること で、児童が思考する際 の立場を明確にする。 中心発問では、自分 の意見を考えた後、グ ループで交流すること で、多様な考え方があ ることに気付かせる。	全校児童が取り組む ことができるゲームを 作成することで、年齢 が離れた1・6年生の ペアも楽しめる活動に する。 委員会ごとに役割を 取ることで、様々な高 学年の児童が集会に関 わることができるよう にする。	車いす体験やアイマ スク体験で感じた不自 由を出し合う。 様々な立場の人が動 くことや見ることなど に課題を感じる場面が あり、自分自身にも当 てはまる場合があるとい うことを理解する。 誰もができるだけ不 自由を感じず暮らすた めに自分にできること をグループで考え、全 体交流する。